



## ジスライネ・ズーリ GISLAINE ZULLI

### データ収集責任者

+55 21 3550 3753

+55 21 99299 3326

gislaïne.zulli@lickslegal.com

### 業務分野

- 特許
- 食品医薬品法
- ライフサイエンス
- サイエンス・特許スペシャリスト

### 言語

- ポルトガル語
- 英語
- スペイン語

Gislaïne Zulliは、2023年にLicks特許法律事務所リオデジャネイロ事務所へ入所した産業薬剤師・特許専門家です。業務内容は特許トレーニングと開発、量的質的分析作成用データ収集の調整、学術分野と科学分野の企業代理人、および企業訪問や記事執筆、顧客と潜在的顧客向けのセミナー企画を含む企業案件です。

Licks特許法律事務所へ入所する以前は、2016～2022年までBRPTOで化粧品、医療製品、医薬品、薬剤の特許審査官を務めていました。この時期にBRPTOのデジタル改革タスクフォースで特許庁代表も務め、BRPTOの行動計画の一環としてBRPTO初のハッカソンを実施したプロジェクトを率い、e-Patents 4.0プロジェクトを共同制作しました。

2006年にコグニス（現BASF）でキャリアを開始し、スキンケア市場向け化粧品の開発と申請業務を担当しました。2007～2016年まで、ジョンソン・エンド・ジョンソンで科学者としてさまざまな職務に就き、技術移転、コンプライアンス、コスト削減、事業継続に関わる国・地域・世界レベルのプロジェクトを主導・実施する機会を持ち、消費者の質的量的研究にも取り組みました。この時期に関わったブランドにはListerine®、Johnson's®、Johnson's Baby®、Neutrogena®、RoC®、Band-Aid®などがあります。さらに、ラテンアメリカの全ブランドで化粧品に使用される原材料のポートフォリオ管理部門の立ち上げ支援にも取り組み、コロンビアのジョンソン・エンド・ジョンソンに4か月間勤務し、国・地域のプロジェクトを主導しました。

### 所属

- ブラジル知的財産エージェント協会 (ABAPI)
- リオデジャネイロ州地域医薬会議 — (CRF/RJ)

## 学歴

- ・ サンパウロ大学 (USP) デジタルビジネス経営学修士号 (MBA) (2024年)
- ・ アルマンド・アルヴァレス特許財団 (USP) マーケティング管理経営学修士号 (MBA) (2008年)
- ・ エネルギー研究機関/サンパウロ大学 (IPEN/USP) 核技術/応用学修士号 (M.Sc) (2007年)
- ・ オズワルド・クルズ・ファシリティーズ (FOC) 化粧品学専攻 (2004年)
- ・ オズワルド・クルズ・ファシリティーズ (FOC) 産業薬剤学学士号 (B.Sc) (2004年)
- ・ クイアバ大学 (UNIC) 薬学理学学士号 (B.Sc) (2002年)

## 執筆・論文

- ・ [ブラジルにおけるイノベーションの状況: 簡潔な分析](#). Migalhas. 2024.
- ・ [ブラジルFDAによる大麻製品の自動キャンセル](#). JOTA. 2024.
- ・ [ブラジル国家衛生監督庁 \(ANVISA\) による大麻製品許可の自動キャンセル: 誘因か停滞か](#). Lexology. 2024.
- ・ [Gislaine ZulliがJornal da Tarde紙に登場: 「女性の特許保持数は男性より少ない」](#). TV Cultura. 2024.
- ・ パパインの組込みおよび制御放出のためのポリマーマトリックスの開発. コントロールリリース協会ニュースレター. 2008.
- ・ パパインを含むポリマーマトリックス: 細胞毒性および皮膚刺激の研究 (COLAOB 2008 – 第5回ラテンアメリカ人工臓器・バイオマテリアル会議に掲載). 2008.
- ・ パパインを含むポリマーマトリックスへのガンマ線の影響 (第8回電離放射線とポリマーに関する国際シンポジウム (IRAP)に掲載). 2008.
- ・ パパインを組み込んだ非細胞毒性のポリマーマトリックスの放出特性の試験管内評価 (第5回ライフサイエンスにおける代替医療と動物使用に関する世界会議に掲載). 2005.
- ・ 化粧品の有効成分の分析に適用される生物物理学方法 (Cosmoprofに掲載). 2003.